

幸せを探しているあなたに

「16.9秒ごとに一件」

もう**安全地帯**はありません



世界終末時計 (The Doomsday Clock) 最近、マヤの暦、中国の周易、ノストラダムスの大預言などを通して地球の終末が2012年12月21日という主張を土台にして作られた災いプロックバスター「2012」が全世界の映画館を熱い雰囲気に行っています。それだけではなく、12月7日デンマークのコペンハーゲン

で全世界の105カ国の首脳が集まって地球温暖化問題を防ぐための「気候変化会議」、12月4日「神までが捨てた地」と呼ばれるソマリア大学卒業式場で22人が死亡した自殺爆弾テロなど、全世界は災いの恐怖の中に震えています。アメリカのシカゴ大学で発行する原子力科学者会報「ブリティン」(The Bulletin of the Atomic Scientists)の「世界終末時計」(The Doomsday Clock)は、人類の核戦争で人類が滅亡する危機が深夜12時7分前に近づいていると警告しています。一方、先月30日に韓国警察庁が明らかにした2005年から2009年6月まで4年6ヶ月間の「犯罪時計」は韓国社会に16.9秒ごとに一件ずつ犯罪が発生していて、犯罪時計はますます速くなっていることを見せています。窃盗2分31秒、強姦1時間、殺人7時間54分など、16.9秒ごとに一回ずつ犯罪が起きていると明らかにしました。地球の滅亡よりさらに現実的に個人が会おう突然の犯罪と災い、もう私たちには安全地帯はないのでしょうか。

永遠な安全地帯(safety zone) 聖書は、人間の始まりと終わりが呪いと滅亡ではなく、永遠な祝福であったと語っています。魚は水の中で生きて、木は地に根をおろして生きるように、人間は本来、神様のかたちとして創造されて、神様とともにいて、万物を治めて生きるように祝福されました。ところが、目に見えない悪い存在(サタン)にだまされて、神様を離れる罪を犯すようになり、この時から人間の運

命はサタンに左右されて、罪と呪いと苦しみの中に陥るようになったのです。理由のないむなしさと不安が訪れてくるようになって、幸せを求めてもがくのですが、犯罪と災いの中でさまようようになりまし。人間はこの問題を解決してみようと、あらゆる努力をつくしたのですが、善行や哲学、宗教、倫理、道徳でも、まったく解決することができないのです。

それで神様が道を開いてくださいました。不信仰で神様を離れてサタンの呪いの中にいたときも、神様は人間のための安全地帯を約束してくださって、全人類が滅ぼされた大洪水の中でも、神様は安全地帯を備えてくださいました。人間が解決できない原罪、その結果に訪れた呪いと災い、運命と定め、目に見えないサタンの働きを解決してくださるキリスト(Christ)を送ってくださると約束されたのです。そして、キリストがこの世に来られて、人間の罪を贖うために十字架で罪のない体で死なれ、キリストという証拠で復活してサタンの権威を打ち砕かれました。私たちがまだ罪人であった時に、キリストが私たちのために死なれることによって、神様が私たちに對するご自分の愛を明らかにしてくださったのです。人間が神様に会うことができる道、すべての罪と呪いの災いから解放される道、サタン(悪魔)のしわざを滅ぼして、その手に捕まって奴隷のようになっていた者たちを解放する道になりました。聖書は、その方がイエス様だと語っています。イエス・キリストを信じて、私の人生の主人として受け入れる時、すべての呪いと災いから永遠に解放される神様の子ども祝福を味わうようになります。

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。(ヨハネの福音書5:24)

聖書が話す教会

教会の本質 近頃、教会は「いったい、していることは何なのか」という批判をたくさん受けています。ある人は、教会が何でこのようなのかと言います。正確に言うと、教会がそうなのではなく、教会に通う人がそうなのです。それでは、教会は何でしょうか。厳密に言うと、救われた者、個人が教会の本質です(1コリ3:16)。そして、福音を持っている二、三人が集まった所が教会です(マタイ 18:18-20)。救われた者が座っている、住んでいる現場が教会です(使徒 18:1-4)。信徒が礼拝をささげるために集まる教会堂も教会です(使徒 2:1-13)。天国も教会です(ピリピ 3:20)。

教会の使命 当然に、救済もして、善行もしますが、それが教会の本質ではありません。教会は、どこも言ってくれない、解決できない霊的問題を語ってくれて、その唯一の解決策である福音を知らせてくれる所です。理解できない呪いと運命の問題、私の子どもに起きる理由ない墮落とさまよひ、たえず自殺を引き起こすうつ病と精神問題、ますます増加している犯罪と災い、未来の問題、目に見えなく働くサタンの問題を唯一解決する福音を伝える所です。足のなえた人に小銭をあげることも重要ですが、根本を解決しなければなりません。ホームレスにうどんを煮てあげるのも重要ですが、ホームレスにならないように手助けしなければなりません。それが教会がすることです。人間はやむを得ず、神様の子どもか、悪魔の子どもかという二つの運命の中の一つに属して生きるようになっていきます。暗やみに陥った者を救い出して、神様の子どもに霊的祝福を受けるように手助けする所が教会です。教会は永遠な天国を実現するモデルです。

重職者が残りの人生にすること すべての重職者は、教会を生かすために「あなたは生ける神の御子キリストです」この信仰の告白をして、福音を味わわなければなりません。この時「あなたはペテロです。この岩の上にわたしの教会を立てます。ハデスの門もあなたに勝つことができません。天国の鍵をあなたに与えます」という約束が成就されます。そして、重職者がいる地域の暗やみの勢力を打ち砕く教会化の祝福を味わわなければなりません。私たちの次世代に正しい福音文化を残さなければなりません。福音と伝道、この中にすべての祝福がみな入っています。これが私たちの遺産です。

神様の子どもになる受け入れの祈り
愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの五つの確信

- 1 救いの確信:** イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 2 祈り答えの確信:** 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信:** 神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 赦しの確信:** あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(IIヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信:** 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

荒野の人生で勝利する3つの鍵

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます（マタイ 6:33）神様に重要なことを求めて慕ってもいないのに、神様がどうして重要なことをくださることができるのでしょうか。荒野の人生で勝利する3つの鍵を必ず点検して確信しなければなりません。

Key すべての生活を神様に方向を合わせなさい 出エジプトをしたイスラエル民族は、一度も行ったことがない荒野の道を行かなければなりません。このとき、何に従って行かなければならないのでしょうか。初めて行く道でナビゲーションについて行くように、神様は契約の箱（みことば）について行きなさいとおっしゃいました。過去に縛られることもせず、未来も恐れずに、確実なビジョンであるカナンの地（世界福音化）をながめて、今日神様の祝福を味わいなさいとおっしゃいました。神様は、荒野の道を行くイスラエル民族12部族に、幕屋中心に天幕を張るようにされましたが、それは、すべての生活を神様に方向を合わせなさいという意味です。それなら、この時代に神様が願われることは何でしょうか。ただ福音、ただ伝道、ただ弟子、ただ私の仕事を持って世の中の文化を生かして、次世代を生かすことです。今は文化戦争時代なので、機能と私のキャラクターと人間の根本問題である霊的問題を解決する専門性と、聖霊の満たしを持って文化を生かさなければなりません。重職者は、教会の信徒と機関を理解しながら、専門家が教会の中で自分の専門性を発揮するように手助けして、教役者の伝道活動を見て助けながら、講壇のメッセージを握ってフォーラムと行政をしなければなりません。そして、黄金漁場を一つずつ分析して、そこに地教会をたてていくのです。この時、牧会者は、ただ福音に対する証人として立って、ピリピ 3:1-20 節のパウロの告白が自分の中心と関心にならなければなりません。必ず牧会者は、シャーマニズムと占いと偶像（宗教）文化を見る目が開かれていなければなりません。福音の味を分かれば、大胆になります。あきらめません。福音を持った者の祈りは、ものすごいということを知るためです。大きい困難がきても、すべて伝道と宣教の門ということが分かるから、挑戦するようになっています。

Key 供えのパン-今日のパン（みことば）を食べなさい 神様は幕屋の中に祭司のための食べ物として、いつも供えのパン（bread of the presence）を置いたのですが、これを食べて力を出しなさいということです。1ペテロ2章9節を見れば、救われたすべての神様の子どもは、祭司の祝福を受けました。それで神様の前で、今日のみことばを握って、力を得なさいということです。近頃はとてもたくさん食べて問題なのですが、過食、暴食、夜食をするほど良いものがあります。それがいのちのパンです。この神様のみことばを握って、一週間、かんで、また、かめば、神様の力が現れるようになります。

Key 他の力を得なさい 私の力では暗やみの勢力に勝つことができず、世界福音化もできません。他の力が必要です。ただ福音、ただ伝道、ただ私ができる仕事を一つにつなげて、ずっと祈ることが重要です。この中にすべて含まれています。ただ福音を握って祈れば、暗やみの勢力が崩れて、個人の問題といのちがない宗教生活、時代の災いから抜け出るようになります。ただ伝道を握っていれば、門が開かれるようになります。この2つのことのために、ただ自分がする仕事を握って24時間祈れば、300%答えを受けるようになっています。私の過去、現在、未来だけではなく、良い人、悪い人、間違った人までも祝福にするようになって、良いこと、悪いこと、間違ったことも祝福にするようになります。まちがいがなく、すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来るとおっしゃいました。だから、福音、伝道、この中に全てのものがみな入っているのです。ここに私たちのいのちをかけなければなりません。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

14日(月) ビジョンの祈り(創 37:1-11)

ビジョンは神様がくださることなので、みことばを正しく受けて、そのみことばを通してビジョンを確認しなければなりません。そして、私の生活で起きるすべての事件を、ビジョンを成就させる神様の御手として味わうのです。問題に対する答えを受けて、理由と時刻表を発見しながら、ビジョンを事実化、現実化、未来化しなければなりません。

15日(火)世界を変えた人(使徒 6:8-15)

草は枯れ、花はしぼんでも、神様のみことばは永遠です。神様のみことばは生きていて力があります。このみことばの力を分ける者が、世界を変えました。このみことばが祈りにつながって、みことばをフォーラムと、みことばが伝えられる時、驚くべき神様の働きが起きて、だれも止めることはできないことが起こります。

16日(水)盗んではならない(出 20:15)

盗みは神様の前に、他の人に被害を与えて、自分もまた霊的問題に捕えられるようになる三重犯罪です。神様の子どもが、神様がくださる聖霊の満たしの霊的な力を受けて、世界福音化のために挑戦する時、隠された経済の祝福を受けるようになります。

17日(木) 主の御名を呼ぶものは救われる(ローマ 10:1-15)

メッセージの流れをよく知ってついて行けば、個人と教会と現場が生かされるだけでなく、未来まで知るようになります。メッセージを握って実際の伝道を見始めれば、全てのことが見えるようになります。整理されたメッセージと実際の伝道を持って深い祈りの中に入れば、すべての人を生かす証人になります。

18日(金)人の管理(使徒 15:36-41)

初代教会では人材を探すより、伝道運動を持続する人を探して、一歩進んで持続する場所を探して、持続するシステムを作ることをさらに重要に思いました。これが、私たちが訓練をして、働きをして、レムナント運動をして、RUTCをたてる理由です。

19日(土)教訓(イザヤ 6:13)

私たちの次世代を福音と実力をそろえた福音エリートに、神様の前で自分の限界を越えて自ら生き残れる自活エリートに、言語と専門性を持って世界を生かす世界エリートに立てるのが世界福音化の最も速い方法です。

週間メッセージ

産業宣教：牧会者が伝道企画ができない理由(ピリピ 3:1-20)

伝道学：家庭問題はどのようにしなければなりませんか(創 37:1-11)

核心訓練：死といのちの対決(使徒 12:1-25)

聖日1部：供えのパン(出 25:23-30)

聖日2部：兄弟をさばいてはならない(ローマ 14:1-12)

よく生きて おられますか？



イラスト_ユン・スルギ

太陽が沈むのを見ながら、一日の生活を振り返って見ることができる人は、勤勉で誠実な時間を送った人だ。さらに、一年が過ぎゆくを見ながら、過ぎた年を決算するのは、賢い人であってこそできることだ。普通の人ならば、始める時に決心したとおり、最初の考えどおりに生きることができないのが人生であることを発見するが、時間は方向性を持って流れる。だれにでも同じ心で流れている中心は、よく生きるということであろう。もちろん、経済の豊かさを味わいながら、健康であることも良いことだが、一日一日の生活を誠実に生きるということは、何よりも重要だ。

ヨーロッパの有名な音楽家が、ある日、謎の死を迎えたという。村の郊外に位置した中世の城のような古典的な背景の静かな家では、これといった死の原因の糸口を見つけることは難しかった。警察は、家で盗まれたものや、ひょっとしてそのミュージシャンのからだに何か傷があるかと注意深く調べ、もしかしたら、自殺をしたのではないかという疑問を持って可能性を探したが、何の異常も発見できなかった。ちょうど、友人の死の悲報を聞いて、急いでその家を訪ねてきた音楽博士が、自分の友人が死ぬようになった理由を簡単に見つけ出した。本来の音楽家がそうであるように、美しい演奏は正確な音程と拍子をよく守ることなのに、その友人は普段に唯一、そのような部分に神経を多く使うことで噂になった人だったという。芸術家が自分独自の境地を成し遂げて、それを守ろうとすることは、他人が分からない多くの苦労をして、汗を流したことは当然なことだ。友人の音楽家が死んだという現場は、テラスといっしょになった練習室であったが、そちらにある楽譜に答えが入っていた。博士が見回してみると、その音楽家が歌った楽譜には、休符がなかった。完ぺきさを追求したこの音楽家は、誠実に音楽を守ろうとしたが、自分を死にまで追いつめたのだった。

世の中は植えたとおりに刈り取る人生の原理や、因果応報の法則がそのまま適用される。しかし、信仰

生活にはこういう原則がいつも適用されるのではない。よく生きたのでよく死んだり、誠実にしたからと、それにふさわしい結果が必ず来るのではないということだ。

自然の法則のとおりなら、罪人としてこの世に生まれたら、当然、罪人で死ななければならない。しかし、聖書は罪人で来たとしても、この世で義人になることができ、義人の価値を持つようになるのだが、それが信仰だ。そのような、でたらめなことがどこにあるのかと言うかもしれないが、ただ聖書が与える価値はそのようなことだ。あきれるように見える救いという意味が、それを含む言葉なのだ。誠実に歌を上手に歌った音楽家の人生は、死で自分の名声をより高めたので、その努力はほめるだけのことはあるが、そのようにまでする必要はないのだ。しかし、私たちの人生で死を捧げても得なければならない価値があるならば、それがまさに信仰による救いの祝福である。その信仰のゆえに、自分のすべてを罪人である私たちの人生に注ぎ込まれたイエス・キリストの恵みがあるので、あなたはただ単純に「信じます!」とだけ言えばよい。笑わせることだと思ってもいい。笑わせるが、それが信仰ということで、それを受け入れた人を救われたということで、その信仰のために私たちはいつも笑って生きるのだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ